

ウムチョ ムウイーザ通信 No. 17

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



祝 小学校卒業

「ADESOC」報告

ウムチョムウイーザ学園
チャールズ校長より

ウムチョムウイーザ学園の実現は多くの皆様の直接または間接的な支援により可能になりました。ありがとうございます。

2001年34名の子ども達を初めて迎えました。その多くはストリートチルドレンでした。教員は1人で始めました。

そして2007年10月26日ウムチョムウイーザ学園として、初めて18名の卒業生を送り出すことができました。たくさんの日本の支援の皆様に立ち会っていただき、心温まる卒業式を行うことができました。

これからも、子ども達の夢の実現のためにご協力をよろしくお願いします。



熊本から卒業式に参加された皆さんからの感想をご紹介します。

ルワンダ訪問（10月22日～10月31日）

2007年10月24日（水） 9:00 学園で簡単な説明を受け、子ども達に会う。

- ・ 学園の敷地は1.5ヘクタール。国の所有地に住民がマンゴーなどの果樹を栽培していたところで、1世帯を除く、すべての世帯が教育のためなら、と土地を提供。
- ・ 2000年頃には、周辺になにもなく、5km以内には学校もなかったもので、未就学児童を集めて授業を始めた。現在も、近郊には中学校がない。
- ・ 学園の子ども達の約3分の1に当たる110人が授業料を払えない。
- ・ ルワンダの法律では、6年間の無償の義務教育。しかし、実際には教室が足りないうえにさまざまな費用がかかる。
- ・ 子ども達は現在354名を受け入れている。内訳は次のとおり

保育学級年少：22名	小学校1年生：51名	小学生4年生：43名
保育学級年中：24名	小学校2年生：60名	小学生5年生：37名
保育学級年長：44名	小学生3年生：55名	小学生6年生：18名
- ・ 教員は16名で、うち女性が9名。ドライバーなどを含めると33名を雇っている。

2007年10月26日（金） 10:00 学園の卒業式に参列

- ・ 保育学級生から順に寸劇や伝統的な踊りを披露
- ・ PTA会長あいさつ
- ・ 6年生のクラブ活動紹介
- ・ マリールイズあいさつ
- ・ 地域の責任者あいさつ
- ・ 校長あいさつ
- ・ 日本から澤さんあいさつ

ルワンダを訪問して

まずルワンダの景色を見て、とても熊本と似ていてなつかしい感じがしました。

そして、ルイズさんのたくさんの家族の方々に歓迎され人々の暖かさを感じました。

自分で本を読んだ、あるいは国の紹介を見たのと違った印象を持ちました。それは、ジェノサイド後、厳しいものの見方があると思っていました。そこには、暖かさと思いやりを感じました。ジェノサイド後、今まで何もなかった国のように思えました。お互いが前向きに積極的に生活している皆さんに勇気をもらった気分でした。

ウムチョムイーザ学園も、もっともっと充実した学校に努力され、多くの子ども達に学習してほしいです。これからが大変だと思いますが、頑張ってください。いろいろと盛り沢山の訪問でしたが、忘れられないルワンダだと思います。

出田光子



今回はルイズさんに同行させていただいて本当に感謝しています。ご家族の皆さんの心のこもったおもてなし、温かい心に感動しました。

学校での授業参観、終了式、卒業式に参加して、子ども達の晴れやかな姿に「どうぞ いつまでも元気でね」と祈らずにはおられません。特にピアノを弾いていた子、上手になってルワンダを代表するミュージシャンになり、また、会ってみたいな！

ルイズさんの教育理念は素晴らしいですが、「勉強するならウムチョムイーザ学園よね。」と言われるような何か特徴があったら生徒にも良いのではないかと思います。ルワンダの将来に合った展望の明るいもの。これなら他の学校に負けないというもの。

元気な子どもたちが、いつまでも元気で幸せに暮らせるように日本から祈っています。

上村雅子

- ルワンダの発展と近代化のスピードに驚いた。そして、私が比較的良好に知っているシエラレオネとの違いを強く感じた。
- ルイズさんのご家族の絆の強さと優しい思いやりに感銘を受けると同時に感謝の気持ちでいっぱい。
- 国の清潔さ、人々の礼儀正さと誇りの高さを強く感じた。
- 規則の厳しさ(プラスチック・写真・ゴミ)に政府の強いリーダーシップを感じると同時にジェノサイドの傷の深さを思った。
- ジェノサイドミュージアム・刑務所・ガチャガチャなどを見ることによって、ジェノサイド後のプロセスを少しでも理解することができた。
- 学校の活動については、休暇中で詳しいことは分からないが、ルワンダの復興と発展に伴う変化の舵取りが今後の課題だと思った。

澤 良世

子ども達の純朴なそして輝く笑顔に、この学校の果たしている役割の大きさを感じられ、学校訪問は、私たちに充実感を与えてくれるものでした。

ルイズさんからは、今後中学校のお話を伺い、もちろんとても大切なことであると思いました。現在の学校がこの地域での存在意義を増すため方策を打ち出さなければならぬと感じました。また、ルワンダの教育の中で、この学校がどのような位置づけになるのかの見通しと方向性も常に考える必要があるかと思われました。そして、高校生等の交換留学等も考えても良いかと感じました。

ともあれ、「ルワンダの教育を考える会」の支援は、大変重要ですし、この支援を通して、日本とルワンダの絆が大きくなり、ルワンダと日本の子ども達が共に成長していくことを切に願うものです。

今後とも、ますますのご活躍をお祈りいたします。

世良喜久子





小学校の卒業式に参加をして学校の皆さんにとっても歓迎をしていただき有難うございました。

学校では、ルイズさんの「ルワンダの子ども達に教育を！」という想いを実現すべくスタッフの皆さんが、各々大変頑張っている様子を拝見しました。また子ども達が、希望を持って学んでいる様子にも感動しました。

学校の運営や教育方針の基礎を作られたこれまでから、地域での役割やしだいに格差化していくであろうルワンダの国全体の教育のあり方の中に占めるウムチヨムイーザの位置付けなど、これからは難しい問題も山積するのではないかと思います。

ルイズさんを支えられている皆さんの力(現地でのまた日本での)で、これからもっともっと素晴らしい学校になっていけることを祈っています。ご一緒にきて本当に良かったです。有難うございました。

YASUDA KIYOMI



私にとっては、二度目のアフリカへの旅でした。

最初に驚いたことは、学校に訪問した時に、日本語での挨拶と歌で迎えられたことでした。

子どもたちの一生懸命さと目の輝きの中での屋外式典には、大変感慨深いものがありました。

今後、子どもたちと学校が共に成長し、発展し続ける事を祈ります。緑豊かな大地と、アボガドの街路樹が広がる風景は、ルワンダの思い出として心に残るものでした。

中野美和子

『マリー・ルイズさんとの関わりを通して学んだこと』



郡山ザベリオ学園中学校

生徒会長 濱津 薫

あなたにとって「共に生きる」とは何ですか？

これは私が中学校に入学して初めての宗教のテーマでした。郡山ザベリオ学園は、郡山で唯一のカトリックの学校です。「清く、明るく、強く」をモットーに園児、児童、生徒が一つの学園の中で一緒に生活しています。私たちの学園目標は「共に生きる」です。友達、先生、家族・・・一人ひとりがそれぞれの答えを持っています。

先日、本校でインターナショナル・デーが実施されました。これは外国人ゲストを招き英語でディスカッションする中で異文化との交流を深める行事です。この行事は7年目になりますが1回目からゲストとして参加していただいているルワンダのマリー・ルイズさんが、自分の国について私達生徒に伝えてくれたルワンダで起こった内戦、それは私たちの予想をはるかに上回るほど悲惨なもので、聞いている私たちも大きなショックを受けました。マリー・ルイズさんは平和な国づくりのためには子ども達の心を育てるために教育の大切さを痛感し、学校づくりをしています。そこで、私たちに何かできることはないかと考えました。

それは生徒会で20年以上続いている「愛の募金」です。1ヶ月100円のがまんをして募金したり、チャリティバザーなどを全員が協力してやっています。この募金で貯まったお金を、毎年15万円ずつインターナショナル・デーのときにマリー・ルイズさんに渡していますし、これからも続けたいと思っています。

特にルワンダの学校で今年、初めての卒業生を出したと聞いてとても嬉しかったです。「共に生きる」とは人と人が支えあって、生きていることだと思います。ルワンダのお友達も私たちと同じように夢や希望に向かって、共に生きていると実感した時、このことについて深い意味を知ることができたと思いました。

ルワンダの子どもたちへ ルワンダフルクリスマスキャンペーン

ルワンダフルクリスマスキャンペーン期間：

12月1日～12月31日

ルワンダの子どもたちへの募金箱を設置していただける場所
を募集します！！

箱は思い思いの箱を利用いただき、身近なところでの募金
活動をお願いします。

☆掲示板☆

インターネット募金をはじめました。ホームページをご覧ください。

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金…毎月の授業料を払えない子ども達のために、継続した寄付をお願いします。

郵便振替口座：02290-0-97126

加 入 者 名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



ソーラー発電…今回ソーラーパネルを5枚取付け、初めてパソコンが動きました。今後もソーラ
ー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加 入 者 名：ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる
方を随時募集しています。（イベント開催時の半日でもOKです。）
よろしくお願いします。

編集後記

あれから6年念願の小学校卒業生を送り出すことができました。子ども達の夢や希望を叶えるために、日本でできることを出来る範囲で末長く見守っていきたいと思います。

お体に留意され、すがすがしい新年を迎えたいものです。（おっとその前に大掃除を頑張ろう！）

ルワンダの教育を考える会

理事長 高橋 啓子

副理事長 かベンガ・リルイズ

〒960-8252

福島県福島市野田町四丁目8-20



TEL / FAX: 024-533-8055

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org